

◆ラウンドミーティングへのプロセス

2005 年 10 月 31 日 (月) 第 1 回作戦会議
2005 年 11 月 30 日 (水) 第 2 回作戦会議
2005 年 12 月 8 日 (木) 第 3 回作戦会議
* いずれも明治学院大学社会学部付属研究所にて

2006 年 1 月ラウンドミーティングに参加して一緒に発信してくれるグループ呼びかけ、学生ボランティア募集
2006 年 2 月 2 日 (木) 第 1 回企画会議
～ラウンドミーティング趣旨説明・参加グループ初顔合わせ～
2006 年 2 月 15 日 (水) 第 2 回企画会議
～子育てグループ活動上の課題って何?～
2006 年 3 月 1 日 (水) 第 3 回企画会議
～子育てまっ最中のママたちから地域へ発信したいこと～
2006 年 3 月 9 日 (木) 第 4 回企画会議
～当日の発信へ向けて & 当日の準備いろいろ～
* 企画会議は明治学院大学社会学部付属研究所 (一部学内他施設) にて



2006 年 3 月 12 日 (日)
ラウンドミーティング

2006 年 4 月 12 日 (水) ラウンドミーティングふりかえりの会
(4 月 12 日の記録は、次ページに掲載しています)

◆ラウンドミーティングその後と「これから」

．．．．．ラウンドミーティングその後：参加グループのメンバーより．．．．．

ひとつ気になったのが男性の参加が少なかったこと。私自身もそうですが、伴侶に対してPRをしていなかった。子育ては母だけのものではなく父も参加し、興味を持ってこのような市民講座に参加してほしい。

グループとしてよりも、個人的に得るものが多かった。

学生が制作してくれたマップを縮小してどこかに掲載してほしい。児童館などに置いてもらえるとよい。

参加子育てグループ

学生制作子育てグループマップは、みなとキッズサポートセンターに展示予定です！

その後、働いているお母さんから問い合わせがあったり、学生も集まりに参加してくれた。学生と話せたことがよかった。仕事をしていると、会おうのは仕事関係者や保育園のお母さんたち。今回専業主婦の方やいろいろな人の話を聴けるよい機会となった。

ラウンドミーティングの時間が短かった。参加者の方が真剣に聴いてくれた。9グループの活動紹介のあと、フロアの参加者の人たちと意見交換できるとよかった。自分たちがしゃべるだけしゃべって、申し訳なかった。9グループの方たちと知り合いになれたのは、すごくよかった。

港区内の参加グループの活動紹介は貴重だったと思う。半分のグループは知っていたが、半分は知らなかった。情報誌を作っているが、誌面で呼びかけるだけでは広報してほしいという連絡がこれまでなかった。どうしてか知りたいと思っていたが、情報交換できるいい機会になった。

参加者より、活動中の保育を応援しますよと声をかけてくださった方がいた。私たちにとっては、思いもしないほどありがたい申し出で、びっくりしてメンバーに話した。ありがたい収穫だった。

おばちゃんちの活動はすばらしい。ぜひ、港区にも講座をきっかけにネットワークができて欲しい。大学がこういう活動をしてくれることの意義は大きいと実感。大学側に負担がかかりすぎないよう、参加者も協力して、息の長い活動が続くことを期待したい。

・・・・・・・・・・「これから」：参加グループのメンバーより・・・・・・・・・・

今回知り合った他のグループの皆さんと今後もつながっていききたい。

親子のためのミニコミ誌「お・さ・ん・ぽ」のホームページ化を検討中です。
今後、参加グループのイベントや講座情報などを掲載していきたい。ホームページ化作業
を応援してくれる学生を募集したい。

参加グループの活動の様子を、ホームページ上で見られるとよい。
参加グループのつながりの中で使えるホームページ制作から始められるとよい。

当日新たに出会った
港区内の子育てグル
ープメンバーより～
「みんなで交流でき
るイベントをつくっ
ていけたらよいな」

情報提供です！ Daisy Chain.com（デイジーチェーンドットコム）というアメリカのサイトは便利。郵便番号を入れると近隣情報（赤ちゃんといける店、イベント、教室など）が検索できる。行政情報だけでなく民間情報も。やりたい企画の書き込みもできる。ボランティアが制作に関わっている。

メーリングリストで、情報を共有・発信し合おう

こんなこともしたい～できるとよいね～

●ホームページ制作●

- ・Daisy Chain.com（デイジーチェーンドットコム）のように、ほしい情報を検索できるようにしたい。
- ・ホームページ制作をいっしょに学べる場をもちたい。学生にも声をかけて、いっしょにやりたい。応援してくれる企業があると聞いたことがある。しらべてみよう、さがしてみよう～！
- ・「みなと子育てネット」（港区役所のサイト）からも、すぐつながるホームページにできるとよいなあ。

●学生と子どもたち●

- ・学生に、子育てグループの現場にどんどん出かけて来てほしい。保育の応援をしてもらうためには、ママたちから活動のオリエンテーションやフォローをしよう。
- ・学生の中には、赤ちゃんに関わる体験をもったことのない学生も多い。保育のボランティア活動をするしないにかかわらず、赤ちゃんや小さな子どもたちとふれあう場をつくれるとよい。学生たちに、子どもや子育てのことをたくさん知ってほしい。